

Weekly Bulletin 2017-2018



RI会長
イアン H.S. ライズリー



ロータリー：
変化をもたらす

静岡東ロータリークラブ

会長 / 高田雅司 幹事 / 川崎依子

事務局 / 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場 / ホテルアソシア静岡 例会日 / 毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
高田雅司

第 2857 回例会

平成 30 年 6 月 7 日 天候 晴

- 《司会》 川崎 依子 君
- 《合唱》 「君が代」「奉仕の理想」
- 《BGM》 「愛情物語」素晴らしきピアノの世界
(羽田健太郎)
- 《ゲスト》 リッチーエブリデイ
代表取締役COO 仲本 千津 様
- 《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日
該当者なし

結婚記念日

6月9日 細田 和広 君

《会長挨拶要旨》

高田 雅司 会長



皆さん、こんにちは。

今日はリッチーエブリデイのCOO仲本千津様をお迎えし「ウガンダの女性たちが誇りを持つブランドを世界に」と題し卓話を頂きます。仲本様よろしくお願ひします。

さて今日は残すところあと二回の会長挨拶の、そのうちの貴重な一回となりました。

何についてお話ししようか考えネタ探しをしておりましたが、中々決まらず見つからず、会社の机の中をひっかきまわしていたら手帳の山が出てまいりました。

私は昭和50年(1975年)が現設計事務所への入所の年ですが、その時から主に予定と、その日の主だった事柄・行動を記録しておくようになりました。初めの二年間は横開きのB5サイズの大きなダイアリーでしたが、1977年に某エレベーターメーカーさんから頂いた、Yシャツの胸ポケットに入る小型のものを使うようになりました。その手帳がこれです。以来現在まで同じものを使っ

ており、これが42冊目になります。当初30年程は暮れに営業の方が持ってきてくれていましたが、そう言った慣習もなくなり、文具店で同じものを見つけ購入し使用し続けております。

内容は、主に仕事上の予定；特にお客様や官庁の関係課との大事な打合せ予定と、一日一日の仕事や出来事の記録ですが、プライベートな事柄も数多く記録してあり、思わず読みふけてしまいました。一日分のスペースは幅15mm程ですから書ける事柄は限られたものですが、当時の出来事などが鮮明によみがえって参りました。

整理しましたら二冊2年分だけが見当たらず、残りは全て残っています。何の気なしに残しておいたのですが、自分の歴史の一部が記憶だけではなく文字による記録として確認できる貴重なものとなりました。これから少しずつ整理し、記憶もたどりながら、自分史みたいなものをまとめてみようかな、などと考えています。

以上、会長挨拶にはそぐわない、皆様にとっては知らない情報であったかと思いますが、以上、終わります。

《クラブフォーラム(国際奉仕)》

ロータリー財団の国際奉仕に関連する

【安全な水】プロジェクトのお知らせです。

古橋 剛俊 君

ロータリー財団から国際奉仕にも関連した「安全な水」プロジェクトのお知らせです

このプロジェクトはフィリピン・マニラのキャブヤオロータリークラブがホストクラブとなってマニラ郊外の学校に「安全な水」を届けようとするプロジェクトです。

この地域の学校には安全な飲み水を供給する設備がないために飲料水を買う必要がありますが、地域の住民は低所得者が多く500ml /60円の飲料水を買うことすら経済的に困難です。止むを得ず摂取する非衛生的な水による健康障害が多く生徒たちに発症しています。例えば、発育障害、栄養失調の生徒が多く、ひいては長期にわたる欠席、学力低下、高い死亡率にまで影響が及んでいます。

そこで「安全な水」をこの地域の生徒たちに提供しよ

うというプロジェクトです。

マニラ郊外のこの地域にある、公立小学校2校と中学校1校に35000us\$の予算で飲み水のための濾過装置と水飲み場を設置します。

このプロジェクトにはフィリピン第3820地区のキャブヤオRC、台湾第3480地区台北芙蓉RC、および日本では第2620地区の富士山吉原RCと静岡東RCが参加することになりました。静岡東ロータリークラブの分担金は500US\$です。

以上フィリピンにおける「安全な水」プロジェクトのお知らせとご協力のお願いです。

《来賓卓話》

「ウガンダの女性たちが誇りを持つブランドを世界に」 リッチーエブリデイ 代表取締役 COO 仲本 千津 様



皆様こんにちは。仲本千津でございます。

私は静岡市生まれの静岡市育ちで、静岡雙葉を卒業しました。その後東京で大学・大学院を出ましてからしばらく大手銀行で働いておりましたが2011年3月11日の東北大震災を体験したことがきっかけで、私のこれからの人生は「私自身のやりたい事をやりたい方法で」過ごしていこうと決心しました。周囲の方々の反対の意見も聞かずに銀行を退職して、主に発展途

上国の農業支援を行っているNGOの東京オフィスに入りました。NGOの活動中にウガンダの小規模農家の支援の仕事につくこととなりウガンダに駐在することになりました。

ここでウガンダについて少しお話をしてみます。ウガンダはアフリカ中西部の内陸国で、あの有名なヴィクトリア湖畔にあります。ヴィクトリア湖は白ナイルの源流です。ウガンダの面積は約24万平方キロメートルあって、人口は3800万人と言われていましたが、現在では4000万人を超えているかと思えます。国土全体は高地にあって標高は平均1200メートル程です。従って一般的なアフリカのイメージより大変しのぎやすい気候です。

1年の3/4は雨期ですが、雨は夜間に降ることが多いのでさほど不便ではありません。首都はカンパラです。

カンパラの治安はまあまあですが、地方の治安は悪く夜間の外出はとても危険です。

現在のウガンダのトピックスとえば①はスポーツです。野球とサッカーが盛んで、サッカー日本代表の本田氏がウガンダの優秀なジュニアを育成してヨーロッパのチームに紹介しようとしてジュニアサッカーチームのオーナーになりましたことをご存知かと思えます。②はアフリカの内戦による100万人以上の難民を受け入れていることです。この数は世界第3位の受け入れ数に当たるそうです。ウガンダも以前長い間内戦が続いた事がありましたのでこの経験からかも知れません。③は

なぜかあのピコ太郎がウガンダの観光大使を務めていますが、この理由に私は全く心当たりはありません。

この様なウガンダでNPO活動を行っていると、街で色鮮やかなそしてアフリカらしい独特のデザインバッグが目につきました。尋ねてみますと数人の女性グループがこれらのバッグを作っていることが分かりました。

あまりに魅力的でしたので是非商品に仕上げたいと思って自分自身で会社を立ち上げることにいたしました。アフリカンワックスプリントと呼ばれている素材を用いたバッグです。

ウガンダは長い間内戦が続き、経済的にもまだまだこれからの国で、多数存在するシングルマザーや反政府組織の一員であった元子供兵などは、ほとんど職業につく事はできません。

従って自立することが困難な状態です。彼女たちの才能を生かして、職業につくことが出来ればと現在は19名のスタッフでバッグを製造しています。4ウエイバッグトートバッグ、ポーチなどを作成しています。主なターゲットは30代のマダムです。母が日本で販売を担当して2人3脚で頑張っています。

この事業はスコッチウィスキーで有名なシーバース・リーガル社の財団が主催するシーバースベンチャーという社会貢献事業のコンテストがありますが今年のコンテストで私共は日本代表に選ばれて全世界の27団体のうち準決勝、ベスト4まで進む事ができました。これらのアフリカンワックスプリントのバッグはデパート(伊勢丹)や三保原屋さんでお求めになる事が出来ます。また通販でもお買い求めが可能です。

ウガンダの、アフリカの、そして世界で“生きづらさ”を感じている女性を支援していきたいと覆っております。今後ともどうぞご支援のほどを宜しくお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。

《スマイル報告》

大角 晋朗 君 誕生日のお祝いを有難うございます。单身赴任も9年目を迎えます。

飲みすぎに留意しながら過ごしていきたいと思えます。感謝してスマイルします。

森下登志美 君 先週は誕生日のお祝いを頂き有難うございました。

鈴木 洋一 君 お忙しい中、お時間を作っていただいた仲本さんにご紹介を頂いた村松会員に感謝してスマイルします。

川崎 依子 君 6月1日に「ワイン食堂ぐるまん」で開催された今期最後のワイン会に多くの皆様に参加していただきありがとうございました。とても楽しい会となりました。感謝してスマイルします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
6/7	49(47)	36	11	-	-	-
5/31	50(48)	33	15	-	-	-
5/24	50(48)	38	10	9	1	97.92%

(会報作成 佐橋 徹)